

■面材の施工

●屋外側被覆材の施工

耐火時間	種類	規格	厚さ	留め付け
1時間・30分 共通	センチュリー耐火野地板	JIS A 5404	18mm以上	固定用材料：リーマドリルビス φ4mm×37mm以上 留付間隔：鉛直方向303mm以下、水平方向610mm以下

●屋内側被覆材の施工

下張り

耐火時間	種類	規格	厚さ	留め付け
1時間	強化せっこうボード	JIS A 6901	12.5mm以上	固定用材料：ドリリングタッピンビス φ3.5mm×25mm以上 留付間隔：周辺部200mm以下、中間部300mm以下

上張り

耐火時間	種類	規格	厚さ	留め付け
1時間	強化せっこうボード	JIS A 6901	12.5mm以上	工業用ステーブルおよび接着剤併用 ①工業用ステーブル 材 質：ステンレス鋼線（JIS G 4309）又は鉄線（JIS G 3532） 寸 法：内幅4mm以上、足長22mm以上 留付間隔：2本留め300mm以下 ②接着剤 材 質：酢酸ビニル系樹脂 使 用 量：200g/m <sup>2</sup> 以下
30分	せっこうボード	JIS A 6901	12.5mm以上	固定用材料：ドリリングタッピンビス φ3.5mm×25mm以上 留付間隔：周辺部200mm以下、一般部300mm以下

1時間耐火構造では、下張りの強化せっこうボードをドリリングタッピンビスで胴縁に留め付け、上張りの強化せっこうボードは工業用ステーブルと接着剤で下張りの強化せっこうボードと目地どうしが重ならないように千鳥に張り付けます。  
30分耐火構造では、せっこうボードをドリリングタッピンビスで胴縁に留め付けます。

■断熱材の施工

●材質・寸法

部位	種類	規格	サイズ
1時間・30分 共通	なし		断熱材なし
	グラスウール	JIS A 9504・JIS A 9521	50mm厚以上、密度10kg/m <sup>3</sup> 以上
	ロックウール	JIS A 9504・JIS A 9521	50mm厚以上、密度20kg/m <sup>3</sup> 以上

胴縁間にグラスウールまたはロックウールを充填します。センチュリー・モエン外壁耐火構造では断熱材なしにすることもできます。

■内装下地材

●材質・寸法






部位	種類	規格	サイズ
1時間・30分 共通	なし	—	下地なし
	建築用鋼製下地材	JIS A 6517	スタッド：WS-50 (50×45×0.8) 以上
			ランナー：WR-50 (52×40×0.8) 以上
			振れ止め：WB-19 (19×10×1.2) 以上

センチュリー・モエン外壁耐火構造では内装下地材に建築用鋼製下地材を使用することができます。施工方法はJASS 26内装工事に準拠してください。

■外壁材の施工

●設計・施工

外装材の施工は、屋外側被覆材のセンチュリー耐火野地板の上に、防水紙をたるみ、しわがないように工業用ステーブルで留め付けてから、COOLを目地通りよく、不陸、目違いがないように横張り用通気留付金具EXを耐火構造用通気金具留付リーマドリルビスで留め付けます。

品名	品番	サイズ	形状
横張り用 通気留付金具EX	JE825	—	
通気留付金具EX 左右接合部用	JEJ835	—	
通気留付金具EX ウマ張り用セット	JEUS830	—	
耐火構造用 通気金具留付リーマドリルビス	JK1460	φ4.2mm×45mm	
耐火構造用 ステンレスリーマドリルネジ	JK1450	φ5mm×70mm	

●施工手順

鉄骨躯体工事完了・確認の後、下記の手順で施工してください。

耐火時間	施工手順												
1時間	鉄骨胴縁 工事	⇒	センチュリー 耐火野地板張り (胴縁の屋外側)	⇒	水切等 取り付け	⇒	防水紙 張り	⇒	外壁材 施工	⇒	断熱材充てん (胴縁の間)※	⇒	強化せっこう ボード2重張り (胴縁の屋内側)
30分	鉄骨胴縁 工事	⇒	センチュリー 耐火野地板張り (胴縁の屋外側)	⇒	水切等 取り付け	⇒	防水紙 張り	⇒	外壁材 施工	⇒	断熱材充てん (胴縁の間)※	⇒	せっこう ボード張り (胴縁の屋内側)

※センチュリー・モエン外壁耐火構造では断熱材なしにすることもできます。

●禁止事項

最新版「設計施工資料集」に記載の「設計施工上の主な禁止事項」をお守りください。